

—シリーズ—

8K放送

カウントダウン[®]

世界の度肝を抜け!!

「衛星8K試験放送」8月1日開始

ポスト2020年の 技術ビジョンを提示 NHK技研公開2016



8K試験放送のメドを付け、その後の展望を語る
黒田徹技研所長（プレス会見で記者の質問に答える）

昨年の技研公開2015は目立つテーマがあった。「8K衛星放送実験」がそうだった。世界で初めての衛星放送実験（BS17ch）で、お台場からの8K生中継映像を世田谷・砧の技研エントランスホールで目の当たりにした。「できる!」と確信した瞬間だった。5月26日～29日に行われた技研公開2016は第70回という大きな節目であった。どう「今後」を示すのか。ポスターには「進化が続く放送技術をご体感ください」と掲げた。来場者は約2万人。

●文・写真：吉井 勇・本誌編集部

研究開発の方針

「3つの重点項目と2つのテーマ」で示す
“今後のビジョン”

昨年公表した2015-2017年度NHK技研3か年計画では、今後の技研が取り組む研究開発の方向を示した〔写真①〕。次世代のテレビ放送として研究テーマにしてきた自然に見える立体テレビの実用化システムの構築を2030年あたりに目指すという。寝転んでも、横からのぞき込んでも見える立体像は、究極